

5年の授業「かれてしまったヒマワリ」

5年生になり、委員会活動がスタートし、入学式や運動会などの準備やプール掃除等、高学年としてクラス内での係や日直の仕事だけでなく、学校全体を支える活動を経験してきました。委員会活動の意義について話し合ったり、学校生活の充実と向上のために活動することの大切さを指導したりしたことにより、任された仕事に積極的に取り組むことができる児童がたくさんいます。

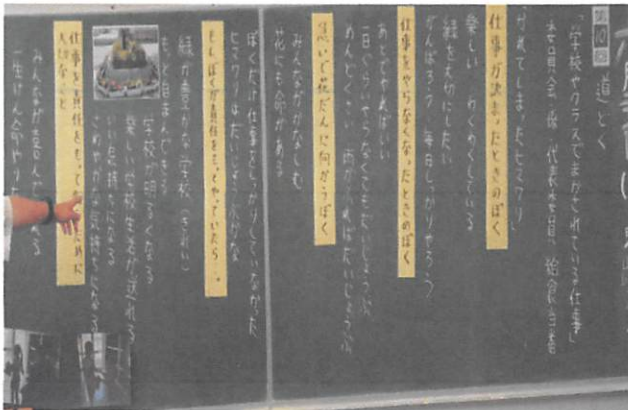
しかしその一方、責任感の不足からか、任された仕事を忘れてしまうことがあったり、仕事に対して「やらないと叱られるから。」といった消極的な思いで臨んでおり、「自分の役割を果たすことが他の人や集団のために役に立っている」という積極的な思いにまで至っていなかったりする状況も感じられます。



本時の学習を通して、集団を支えているのは、自分たち自身であるということに気付くようにすると同時に、集団における自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする積極的な態度を育てたいと考えました。

☆教材の内容について

初めての委員会活動で張り切っていた主人公ですが、だんだん友達の誘いや自分の都合で正当化して環境委員会活動の仕事をしなくなってしまいます。「やらなくてもどうにかなるだろう」「たぶんだいじょうぶだろう」と、どの子どもも考えるように、この主人公も言い訳をしてやらないで済ませようとしていました。ある放課後、一生懸命体育委員会の仕事をしている友達を見て、主人公がこのままではいけないと気付く内容です。集団の一員として主体的に責任を果たすことの大切さを考えさせ、高学年としての自覚を促す教材です。



仕事をやらずにいた主人公が、急いでヒマワリのところに行ったとき、どんなことを考えていたかを話し合うと、次のような意見が出されました。

- ヒマワリは大丈夫かな。ヒマワリのことを考えていなかった。
- ひまわりがかれてしまったら、みんなが悲しむ。
- ほくだけが仕事をしていなかったんだ。

授業の最後に自分の仕事を責任を持って行うには、どのような気持ちが必要か、自分の生活を振り返って、ワークシートに記入しました。次のような意見が記入されていました。

- (係) • 黒板をきれいにすれば、次の時間、先生やクラスの人が気持ちよくなるから、しっかり消そう。
- (委員会) • みんなのために、そして、学校がよくなるように思いながらやる。
- (清掃) • みんなが笑顔で暮らせるように、花を育てたい。
- (清掃) • みんなが清潔に過ごせるように、細かいところのほこりを取ったり、拭いたりしていく。

• 学校のために、隅々まできれいにす

*自分の役割を果たしていこうという、気持ちがどの子も記入されていました。